

平成30年7月5日
国立研究開発法人科学技術振興機構

平成29年度における革新的新技術研究開発基金の管理状況について (平成29年4月～平成30年3月)

1. 基金の管理状況

革新的新技術研究開発基金の適切な管理において、基金の運用について、機構法附則第5条の2第3項の規定に基づき、安全性確保を最優先に、収益性の向上にも配慮した基金の運用を行った。

なお、基金の管理及び運用については基金管理委員会を計11回開催して、事業の進捗に応じて、基金の支出、収入の実績及び資金運用の方針について確認している。

2. 平成29年度の基金の収支と残額について

平成29年度当初の基金残高 24,954,206,460 円に対して、当該年度の収支及び年度末時点の基金残額は下表の通り。

(単位：円)

		平成29年度			累計 (平成25～ 平成29年度)
		上期	下期	合計	
年度当初基金残額(a)		—	—	24,954,206,460	55,000,000,000 [※]
支出 (b)	研究費	5,753,965,179	5,706,047,328	11,460,012,507	40,065,054,079
	支援費	568,246,592	778,596,145	1,346,842,737	4,112,239,614
	基金管理費	1,669,555	4,337,447	6,007,002	21,921,447
収入 (c)	利息	1,381,791	3,509,637	4,891,428	123,775,853
	その他収入	27,118,646	25,672,397	52,791,043	1,274,465,972
支出総額 (d=b-c)		6,295,380,889	6,459,798,886	12,755,179,775	42,800,973,315
基金の残額(a-d)		—	—	12,199,026,685	12,199,026,685

※ 基金創設時の金額

3. 平成29年度の基金の収支に係る説明

(1) 研究費

総合科学技術・イノベーション会議において、12名(第2回：2014年6月24日)及び4名(第11回：2015年9月18日)のプログラム・マネージャー(PM)が決定された。その後、革新的研究開発推進会議において、12名のPM(第7回：2

014年10月2日、第9回：2014年10月30日）及び4名のPM（第17回：2014年12月10日、第18回：2015年2月4日、第19回：2015年3月3日）の研究開発プログラムの全体計画が承認されている。また、平成29年度においては、有識者議員等によるPMを対象にしたプログラムの進捗のヒアリングを踏まえ、うち5名のPMについては革新的研究開発推進会議（第29回：2017年8月31日、第32回2018年2月1日、第33回：2018年3月29日）において研究費総額が見直されている。

本計画に沿って機構は、「革新的新技術研究開発基金の運用に係る方針（平成26年3月17日総合科学技術会議 革新的研究開発推進会議 決定）」に基づき、平成29年度に実施する委託研究開発について、各研究開発機関と契約を締結し、研究費を執行した。

（2）支援費

PMが行う研究開発プログラムの企画・遂行・管理等の活動の支援等に必要な経費として、16名のPM人件費、プログラム推進に必要な支援スタッフ人件費、進捗管理に係る打ち合わせ等のための旅費、関連分野の技術動向等についての調査委託費等を執行した。

（単位：円）

科目	支出目的	平成29年度
物品費	事務用品等購入費	9,777,670
旅費	PM等交通費	127,226,325
人件費・謝金	PM等人件費	872,506,296
その他	調査委託費他	337,332,446
計		1,346,842,737

（3）基金管理費

基金の運用その他の管理に必要な経費として、PMの執務環境整備に要する光熱水料、清掃費、専用設備保守管理に要する経費及び支払手数料を執行した（平成29年度6,007,002円）。

以上